

## 集いを盛り上げる小噺いくつか

12月に入ると忘年会、クリスマス・パーティなどと集いが多くなりますね。以下は、幹事はもちろん一参加者としても役に立つ「集いを盛り上げる小噺」集です。これまでに読んだ新聞や雑誌、書籍などからの引用が多いですが、必要な場合には出典を明記しています。実際に私が話して大受けした小噺ばかりです。気に入ったのがありましたら参考にしてご活用ください。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

まずは、お酒は人生を楽しくしてくれます。昔の歌人も詠んでいます。

「人の世に 楽しみ多し然れども 酒なしにて 何の楽しみ」(若山牧水)



そう、お酒はこんなにも愛されているのですが、生まれつきというか、体質的にというか、歴史上のこんなに偉い人も飲めなかった、という記録があります。

歴史上の下戸：日本では、織田信長、西郷隆盛、松尾芭蕉、夏目漱石  
海外では：チンギス・ハン、ナポレオン、ヒットラー、毛沢東

——あの勇猛だった、または知性の塊だったような人の名前を見て私も驚いたものです。

以下は新聞や雑誌に載っていた面白い川柳。

**恋人がいるかと聞かれ「ハイ要ります」**

きっと先輩か会社の上司から個人生活のことを聞かれたのでしょうか。とっさにその質問をきっかけに「いたら紹介してください」と頼んだところが面白いですね。

**置き場所を思い出せない備忘録**

**角が取れ丸くなるのは背中だけ**

**喜寿祝い寿司に集まり我孤独**



この3首はシニア、高齢者の姿や生活を詠んだもの。誰でも思い当たることがあるでしょう。特に最後の句は、喜寿のお祝いに集まりながら当の本人をほっぽっておくという、周囲への皮肉も込められていますよね。

川柳ではありませんが、アルコールが毎日欠かせない患者が、病院で問診の時：

医者「お酒飲まれますか？」と聞かれ「あるんだったらいただきます」

意識してトンチンカンな返答をしたところが面白い。

次は日本ペンクラブの会報に載っていた米原万里さんの言葉です。彼女はすでに亡くなりましたが、ロシア語通訳でエッセイスト。下ネタとダジャレが得意でいっぱい面白い話を残しています。(女性がいる集いでは念のため注意しながら)

その一つ。

「まず、男は慌てることなく、優しい手つきでスカートをおろした。はやる心を抑えて、ゆっくりとブラウスをはいだ。次にブラジャーのホックをはずして引っ張ると、ブラジャーはそのまま男の足元にパラリと落ちた。それから男は、一気にパンティを引きずりおろした。今や、男の前には、むき出しの洗濯ローブがあった・・・」

「この洗濯ロープが最初から分かっていると、ちっとも面白くない話ですが、皆さんが何を想像したのか知りませんが（笑い）、そちらの方に想像力が行くように最大限、力を尽くすわけです。そうすると、男が洗濯物を取り入れているという平凡な風景が笑い話になるわけですね」



話の組み立てが上手ですねえ。

最後に、朝日新聞に掲載されていた「いわせてもらお」からの傑作の紹介です。

### ◎騒々しい

電車で乗り合わせた3人の中年女性。「イヤホンからもれる音楽ってうるさいわ」

「はた迷惑よね」「近頃の若い子は周りを考えないから」と口々に文句を言っていた。彼女たちが電車を降りた瞬間、男性のため息交じりの声が聞こえてきた。「うるさくて本が読めやしない」（横浜市・みんなでうなずいた・63歳）

### ◎愛（ア・イ）の違い！？

初孫がカタコトを言い始めた。婿方の祖父母はバアバとジイジと呼ばせ、娘方の当方はババアとジジイと呼ばせて区別している。それにしても、アイの置き場所でこんなにも違うものか。

（横浜市・バアバと呼ばれたいババア・65歳）

### ◎交代



夕食後、妻に絵本を読んでくれとお願いする2歳の娘。

「お母さんはお皿を洗わないといけないから、お父さんに頼んでおいで」と言われると素直にうなずき、私のもとへ走ってきて叫んだ。「お父さん、お皿洗って！」

（大分県日田市・読み聞かせより、皿洗いが得意です・43歳）

### ◎本物の味

5歳の息子はシューマイが大好き。いつも冷凍食品でゴマかしているが、久しぶりに手作りすることに。息子は一口食べて大喜びで言った。「オイシー！ スゴイ！ 本物の冷凍食品みたい！」

（横浜市・恐縮してグリーンピースのように小さくなった私・45歳）

### ◎妙味

飲食店でアルバイトをしていた時のこと。同年代ぐらいの男性から「焼きナス」を注文された。冗談で「ボケナス、お待たせいたしました」と差し出したら、「ありがとう、おたんこナス」と返された。

（東京都東久留米市・秋ナス大好き・63歳）



shutterstock・115497940

最後に私の川柳を一首。

空き待てど 降りるは隣り また隣り

現役時代に自宅から職場まで青梅線と中央線で通勤していたときの情景。疲れた帰宅時には空きそうな席の前に立ったのですが——なんと推察力の無いこの自分よ！

……楽しんでいただけましたでしょうか？